

令和4年度 焼津市農業総合支援協議会第1回総会

協議事項

- 議事1 令和3年度焼津市農業総合支援協議会事業報告及び収支決算について
- 議事2 令和4年度焼津市農業総合支援協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について
- 議事3 実質化した人・農地プランの変更について

附帯決議 決議事項中、権利義務に属さない軽微な事項の修正及び違算、誤字の修正並びに法令その他、行政庁の処分又はこれに基づく指示による場合は、必要な字句を修正することを会長に一任するものとする。

令和4年5月23日（月）
焼津市農業総合支援協議会

令和4年度焼津市農業総合支援協議会 委員・幹事名簿

	役職	氏名	水田営農 幹事会	経営・生産 幹事会	推薦団体
1	会長	村松 章	○	幹事長	農業委員会 会長
2		村田 忠夫	○	○	農業委員会職務代理者（相川）
3		藁科 光生	○	○	農業委員会職務代理者（焼津）
4	副会長	栢村 輝夫	○	○	大井川農業協同組合 理事
5		横山 久男	幹事長	○	大井川農業協同組合 理事
6		八木 栄幸	○	○	稲作部会長（焼津地区）
7		岩本 操	○	○	水田営農組合長（大井川地区）
8		小長谷 久彌（新任）			焼津副代表支部長 （村松氏：代表支部長兼任のため）
9		九門 良一			大井川代表支部長
10		松川 悟			農業経営士
11		桜井 亮平	○	○	農業振興会 副会長（焼津地区）
12		青木 淳一	○	○	農業振興会 副会長（大井川地区）
13		村松 哲彦	○	○	農業振興会（焼津地区）
14		大場 弘之	○	○	農業振興会（大井川地区）
15		良知 富江（新任）		○	キラキラビレッジ直売所 運営委員会 代表
16		甲賀 まさ子		○	キラキラビレッジ直売所 運営委員会
17		山下 早苗		○	農業者代表
18		石間 洋子		○	農業者代表
19		相澤 哲也（新任）			静岡県農業共済組合 中部地域センター長
20		内山 吉裕			大井川土地改良区 事務局長
21		太田 芳幹	○	○	県志太榛原農林事務所 農業振興部長
22		松本 伊早子（新任）		○	焼津商工会議所（消費者代表）
23		小杉山 正雄			豊田第8自治会長
24		大本 裕一	○	○	焼津市 経済部長

議事 1 令和3年度焼津市農業総合支援協議会事業報告及び収支決算について

区分	年月日	内容
協議会開催	令和3年5月21日	1 第1回総会 (1) 焼津市農業総合支援協議会役員を選任(案)について (2) 焼津市農業経営改善計画認定審査会委員の選出(案)について (3) 令和2年度 焼津市農業総合支援協議会事業報告及び収支決算報告について (4) 令和3年度 焼津市農業総合支援協議会事業計画(案)及び収支予算(案)について (5) 令和3年度 担い手育成支援アクションプログラム(案)について 2 第1回経営・生産対策幹事会 (1) 人・農地プランの実質化について (2) 人・農地プランの変更について
	令和4年2月 (書面決議)	1 水田営農対策幹事会 (1) 令和3年度 経営所得安定対策の実績について (2) 令和4年度 経営所得安定対策について (3) 焼津市水田農業ビジョンについて
	令和4年3月 (書面決議)	1 第2回総会 (1) 令和3年度 経営所得安定対策の実績について (2) 令和4年度 経営所得安定対策について (3) 令和4年度 焼津市水田農業ビジョンについて (4) 人・農地プランの実質化について

区分	内容	活動主体	実施内容
土地利用対策	農業振興地域整備計画の管理	市	<ul style="list-style-type: none"> ○農用地利用計画の管理・調整 <ul style="list-style-type: none"> ・市民等からの農用地区域(青地)の除外相談等への指導・助言 ・農用地利用計画の適正管理 ○農業振興地域整備計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画の随時変更の手続きに係る作業
	耕作放棄地対策の推進	市、県農業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○耕作放棄地 解消活動と再生事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・発生防止の呼びかけと早期発見、農地の管理指導 ・解消・再生のための補助事業を活用・解消支援 ○レンゲ栽培の推進(地力増進・景観形成) <ul style="list-style-type: none"> ・地力増進と景観形成、養蜂振興の一環として、レンゲ種子の無料配布(レンゲ種子:1,380kg) 養蜂農家の育成(養蜂保護のためのスズメバチ駆除の実施(296件)) ○高草山利活用の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会との連携による畑総農道の協働管理 ・利活用に係る意向調査の集計、利活用法の検討 ○内陸フロンティア推進区域での取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ・塩害等による耕作が困難な農地の利活用調整(田尻北) ・い草の栽培: 畳表の製品化の取組推進
	農地利用集積・集約の推進	市、県農業委員会 JA	<ul style="list-style-type: none"> ○利用権設定等促進事業や農地中間管理事業の実施による人・農地プランの推進(担い手間における農地の利用調整による面的集積の推進) <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業を活用した集積の推進(799筆 57.1ha) ・農用地利用集積計画の策定、担い手等に対する農地の利用権設定(886筆 64.8ha) ・焼津市農用地利用集積等奨励金(集積:延20経営体 108筆7.9ha、整備:0件) ・人・農地プランの実質化(7地区1620.2ha 東益津・焼津豊田小川・大富・和田・相川・吉永・静浜)

補足資料 P1

補足資料 P2,3

区分	内容	活動主体	実施内容
担い手対策	認定農業者・認定新規就農者等の育成・確保	市、県農業委員会 J A	<ul style="list-style-type: none"> ○再認定及び新規認定農業者の掘り起し活動 <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画の策定支援 焼津市内営農者 再認定10名 新規認定5名 (認定農業者総数74名) 市を跨ぐ営農者 再認定2名 新規認定1名 (認定農業者総数17名) ○経営改善計画等の取組みに対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興支援事業 (助成事業) の推進等による支援 ・経営改善に向けた相談・助言 ○新規就農者に対する支援事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農業次世代人材投資資金交付 4名 ・就農希望者の相談、助言等の実施 ・県のがんばる新農業人支援事業への参画 (就農地調整、就農計画作成への指導等支援) ○各種支援事業の活用による支援の推進 (人・農地プランの更新) <ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランでの中心経営体への位置付け <p>(農業振興支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善活動支援 (地域農業の振興に資する活動に対する支援/15組支援) ・農業振興会支援
			補足資料 P4~7
			補足資料 P'8,9
水田対策	経営所得安定対策等の推進	市、県、J A	<ul style="list-style-type: none"> ○米の需要量の情報を踏まえた的確な需給調整の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・米の需要予測の提供による需給調整の実施 (超過率104.14%) ・水田農業利活用奨励金の交付 (50名) ○農業者の経営所得安定対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・経営所得安定対策の作成指導・支援・取りまとめ (交付延人数109名) ○稲食害対策の推進 (ジャンボタニシ駆除) <ul style="list-style-type: none"> ・農業者に対する薬剤費の一部助成 (対象面積720ha)
			補足資料 P'10
			補足資料 P'11
地域資源保全・環境対策	環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業の推進	市、県	<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全型農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・国の環境保全型農業直接支援対策の申請の取りまとめ (2団体:5名の申請受理。取組面積5.17ha)
	地域・集落等の活力を活かした取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ○農地・水・環境保全向上対策事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・活動組織 (和田、上小杉中の島、上小杉下の島、保福島、方ノ上、本中根) の保全活動への支援と新規取組地域への説明会実施 ○部農会活動強化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・農政調査等業務委託による部農会活動との協働
	鳥獣による農産物に係る被害の防止	市、県、JA	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣害防止対策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・東益津地区で鳥獣被害調査の実施、イノシシの被害防止対策の啓発 ・鳥獣被害防止対策協議会、狩猟者、地元住民との連携によるイノシシ等の捕獲 (イノシシ29頭、アナグマ3頭、ハクビシン4頭捕獲) ・圃場防除対策としての電気柵等整備にかかる経費の一部補助 (3件)
			補足資料 P'12
地産地消対策	地産地消及び食育の推進	市、県、JA	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食の食材としての地場農産物の利用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食での地元農産物の利用推進の実施 (焼津産米・キャベツ) ○農業体験の場の提供及び地場産農産物のPR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・市役所ホールでの出張直売所の開催 ・農業振興会の「みなとまつり」「大井川港朝市」等への出店支援と焼津産農産物のPR (中止) ○市民農園の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市広報やHPを活用して、市民農園の空き区画情報の提供と利用拡大の促進 ・市民農園開設希望者に対する指導・助言
			補足資料 P'13

令和3年度焼津市農業総合支援協議会 一般会計決算

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

(単位:円)

科目	本年度 決算額	本年度 予算額	比較増減	備考
I 収入の部				
1 農業振興支援事業助成金	1,040,000	1,300,000	△ 260,000	
(1)市補助金	740,000	1,000,000	△ 260,000	
(2)農協補助金	300,000	300,000	0	
2 市奨励金	2,999,292	3,000,000	△ 708	
(1)市補助金	2,999,292	3,000,000	△ 708	水田農業利活用奨励金
収入合計 (A)	4,039,292	4,300,000	△ 260,708	
科目	本年度 決算額	本年度 予算額	比較増減	備考
II 支出の部				
1 農業振興支援事業助成金	1,040,000	1,300,000	△ 260,000	
(1)経営改善活動支援	940,000	1,000,000	△ 60,000	
(2)農業振興会支援	100,000	300,000	△ 200,000	
2 市奨励金	2,999,292	3,000,000	△ 708	
(1)水田農業利活用奨励金	2,999,292	3,000,000	△ 708	
支出合計 (B)	4,039,292	4,300,000	△ 260,708	
収支差額 (A)-(B)	0	0	0	

焼津市農業総合支援協議会会長 様

監査報告書

令和4年5月11日、焼津市本庁舎経済部農政課において、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における本協議会の事業及び会計について、監査を実施いたしました。

その結果、事業及び会計については本協議会の目的、当年度事業計画等に沿って適正に執行されていることを認めます。

令和4年 5月 11日

焼津市農業総合支援協議会

監事

葉科光生



監事

横山久男



令和4年度 焼津市農業総合支援協議会事業計画 (案)

1 基本方針

本市の農業は、豊かな水や温暖な気候などの自然条件や交通・輸送の利便性に恵まれる中、お米や野菜等の生産を中心として発展してきただけでなく、水源のかん養、環境の保全、伝統文化の伝承等市民の暮らしに深く関わってきました。

しかし、近年は、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、農地の荒廃化の進行や用排水路、農道などの維持管理の人手不足を招くといった、農業・農村を取り巻く環境は厳しい状況になっています。また、今年度も米の需給見通しを公表して、生産者が経営判断に基づいた生産・販売による、需給と価格の安定を図っていきます。

このため、当協議会ではこれら農業の主要な課題として以下の重点課題を設定し、その解決に向けた事業計画を行政、農業関係者、地域と一体となって取り組むことで、本市農業を更に発展させていくことを目指します。

2 基本的取組み

区 分	内 容
農地の有効利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・優良農地確保のための健全な土地利用 ・担い手への農地の利用集積・集約 ・耕作放棄地の発生防止・解消対策
担い手の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者の育成・確保 ・新規就農者の育成・確保 ・需要に応じた農産物生産体制の維持・発展 ・地域環境を活かした農業経営モデルの確立
農業生産の基盤整備及び地域資源の保全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な農業を実践するための基盤整備 ・農業施設の老朽化への対応 ・集落を基礎とした組織による農業用水路等の保全管理
各施策・ビジョンの進行・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・焼津市第6次総合計画の進行・管理 ・農業経営基盤強化促進法による基本構想の策定・変更 ・農業振興地域整備計画の策定・変更 ・水田農業ビジョンの策定・変更
その他重点的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業の実践 ・地産地消の推進 ・有害鳥獣防止対策

3 令和4年度事業計画 (案)

区分	内容	時期
土地利用対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業振興地域整備計画の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・農用地利用計画の管理・調整 ・農業振興地域整備計画の見直し 	4月～3月 4月～3月

土地利用対策	<p>○ 耕作放棄地対策の推進 補足資料 P13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解消活動と再生事業の推進 ・レンゲ栽培の推進（地力増進・景観形成） ・高草山利活用の検討 ・田尻北農地基盤整備事業区域内で、イ草等の高収益作物を推進 <p>○ 農地利用集積・集約の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用権設定等促進事業や、農地中間管理事業の実施による人・農地将来プランの推進（担い手間における農地の利用調整による面的な農地集積の促進） ・農地利用集積支援事業・農地整備支援事業の推進 	<p>4月～3月</p> <p>9月～10月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p>
担い手対策	<p>○ 担い手農業者等の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再認定及び新規認定農業者の掘り起こし活動 ・経営改善計画等の取組に対する支援 補足資料 P14 ・新規就農者に対する支援事業の推進 ・各種事業の活用による支援 ・農地の賃借等の相談、新規就農相談の総合窓口の運営 	<p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p>
水田対策	<p>○ 経営所得安定対策等の推進 補足資料 P15～16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要に応じた主食用米の生産の推進 ・農業者の経営所得安定対策の推進 ・新規需要米（飼料用）利用拡大の推進 ・稲食害対策の推進（ウンカ・ジャンボタニシ駆除） 	<p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～6月</p>
地域資源保全・環境対策	<p>○ 環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業の推進 <p>○ 地域・集落等の活力を活かした取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・水・環境保全向上対策の推進 ・部農会活動強化支援 <p>○ 鳥獣による農産物に係る被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止対策の検討 	<p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p>
地産地消対策	<p>○ 地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の食材としての地場農産物の利用促進 ・地場産農産物の PR 活動 ・市民農園の推進 	<p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p> <p>4月～3月</p>

4 令和4年度総会等日程（案）

開催日	会議名	備考
令和4年 5月 23日(月)	第1回総会	R3年度報告、R4年度計画他
令和5年 2月 17日(金)	第1回水田営農対策幹事会	R4年度実績、R5年度計画他
令和5年 3月 17日(金)	第2回総会	経営所得安定対策実績報告他

**令和4年度 焼津市農業総合支援協議会
一般会計予算(案)**

自：令和4年4月1日
至：令和5年3月31日
(単位:円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備考
I 収入の部				
1 農業振興支援事業助成金	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 市補助金	1,000,000	1,000,000	0	
(2) 農協補助金	300,000	300,000	0	
2 市奨励金	3,000,000	3,000,000	0	
(1) 市補助金	3,000,000	3,000,000	0	
収入合計 (A)	4,300,000	4,300,000	0	
II 支出の部				
1 農業振興支援事業助成金	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 経営改善活動支援	1,000,000	1,000,000	0	
(2) 農業振興会支援	300,000	300,000	0	
2 市奨励金	3,000,000	3,000,000	0	
(1) 水田農業利活用奨励金	3,000,000	3,000,000	0	
支出合計 (B)	4,300,000	4,300,000	0	
収支差額 (A) - (B)	0	0	0	

議事3 実質化された人・農地プランの変更について

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
焼津市	相川地区	令和4年3月16日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	297.8 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	154.2 ha
③地区内における71才以上の農業者の耕作面積の合計	44.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	22.5 ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	27.4 ha
(備考)	

- 注1:③の「71才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
注4:プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

当地区は圃場整備により、農地の区画整理(20a以上の農地が多い)や用排水路、農道等の整備が行われてきた。砂利層が浅いところにあるため保水力に課題があったが、大井川用水に隣接する地区であることなどから、水稻の早期栽培を行うことが可能で、現在でも時給的農家を主体とする水稻栽培がこの地区の基幹作物となっている。しかし、農家の高齢化とともに経営規模が縮小し農業機械の維持がむずかしくなっている。離農農家が出てくることが考えられ、後継者が確保されない限りは農地の荒廃化や農業施設(農道、用排水路等)などの維持管理に支障が出てくると考えられる。

また、当地区は志太梨の産地を形成し、消費者からの需要は高く、そのほとんどが自家販売や注文販売などで流通されることから、「志太梨」のブランド力は強いものがある。しかし、樹齢が高くなってきていることや後継者の不足が問題となってきている。

一方で、当地区では大井川・藤枝スマートICや志太中央幹線のインフラ整備が進められ、人・モノの交流が進んでいく事が予想される。こうした中、新たな農業のビジネスチャンスと捉え、地区の中心となる経営体や、新規就農者などによって地区農業者の活性化を図ることが期待される。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当地区では法人経営を行っている中心経営体や法人化を目指している農業者が多くあり、多くの農地を担っている。そういった経営体が拡大を希望していることから話し合いを行い効率的な集約化を進めていく。

- 注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。
- 注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	松川 悟	複合経営	5.8 ha	複合経営	6.3 ha	相川・下江留
認農	萩原 静雄	施設野菜	1.0 ha	施設野菜	0.5 ha	下江留
認農	石間 勝己	稲作	3.6 ha	稲作	3.6 ha	下江留・西島・相川
認農法	(有)フロム大井川 代表取締役 増田敏昭	稲作	11.2 ha	稲作	11.2 ha	全域
認農	川村 和徳	複合経営	3.6 ha	複合経営	3.6 ha	下江留
認農	大畑 守	複合経営	15.5 ha	複合経営	21.5 ha	上泉・上新田・相川
認農	山下 早苗	複合経営	0.8 ha	複合経営	0.8 ha	上泉
認農	岡野 慎	露地野菜	0.9 ha	露地野菜	0.9 ha	上泉
認農	斉藤 安彦	工芸農作物	1.7 ha	工芸農作物	2.0 ha	上泉
認農法	(株)鈴生おおいがわ	露地野菜	6.3 ha	露地野菜	10.0 ha	相川・西島
認農法	(株)グリーンテック	施設野菜	0.7 ha	施設野菜	1.3 ha	相川
認農法	(株)クンカ・イケショー	複合経営	0.2 ha	複合経営	0.2 ha	上新田
認農	滝井 満司	酪農	1.1 ha	酪農	0.6 ha	相川・西島
認農	木村 英之	複合経営	11.2 ha	複合経営	11.2 ha	相川・上泉
認農	吉田 勝巳	花き・花木	0.2 ha	花き・花木	0.2 ha	上泉
認農	大畑 一高	複合経営	4.2 ha	複合経営	4.5 ha	下江留
認農	岳下 光治	複合経営	5.8 ha	複合経営	5.8 ha	上新田
認農	西尾 雅志	複合経営	4.4 ha	複合経営	5.4 ha	上泉・相川
認農	熊ヶ谷 道生	複合経営	0.1 ha	複合経営	0.1 ha	上泉
認農法	(株)鈴生	露地野菜	10.0 ha	露地野菜	12.0 ha	相川・上泉・下江留
認農	吉川 孝	露地野菜	0.9 ha	露地野菜	4.0 ha	下江留
認農	八木 栄幸	稲作	0.2 ha	稲作	0.2 ha	下江留
認農法	(株)ザ・ネクストワン 代表取締役 羽田真吾	露地野菜	0.7 ha	露地野菜	1.5 ha	下江留
認農法	(株)アースグリーンファーム 代表取締役 杉原誠二	複合経営	8.0 ha	複合経営	18.0 ha	相川・下江留
認農	望月 俊孝	複合経営	0.2 ha	複合経営	0.5 ha	上新田
認農法	株式会社 エスファーム 代表 光山 秀男	露地野菜	0.0 ha	露地野菜	0.5 ha	全域
到達	村田 信次	稲作	1.9 ha	稲作	1.0 ha	西島
認就	松本 高路	施設野菜	0.5 ha	施設野菜	0.7 ha	上新田
認就	浅田 侑也	複合経営	2.0 ha	複合経営	2.0 ha	上泉
計	29人		102.7 ha		130.1 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地中間管理機構を利用し効率的な農業経営が可能となるよう集積を進めていく。